



### 壬生野小学校卒業式が挙行されました。



### 卒業式 ~31人のなかまと 自分らしく 次のステージへ~



3月17日(金)に、卒業式を挙行しました。今年  
 は、3年ぶりに、4名の来賓の方とともに、4年生と  
 5年生の子どもたちも式場に入りました。♪栄光の  
 架橋♪の曲に併せて舞台から入場したあと、校長先生  
 から、一人一人、卒業証書を受け取りました。入場し  
 てくる6年生の姿を見ただけで、目を潤ませていた  
 保護者の方が何人もおられました。

校長先生からの、はなむけの言葉では「卒業証書は、みんなの6年間にわたる『努力の証』であり、  
 これまで支えてくださった家族の皆や地域の皆、先生方の思いがいっばいつまった『愛情の証』であ  
 り、そして、何よりも、かけがえのない一人の『六年間の成長の証』である。」ことを話しました。



在校生から、6年生一人一人へのメッセージ動画が舞台に大きく映し出されると、6年生は照れな  
 がらも嬉しそうに見ていました。その後、6年生が、6年間で振り返っての思い出や感謝のことは、  
 旅立つにあたっての決意を伝えたのち、6年生みんなで、♪旅立ちの日に♪を合唱しました。

退場の時には、一人一人が担任の先生から花を受け取り、満面の笑みで式場を後にしました。

今年、卒業した31人の子どもたちをはじめ、今後も、子どもたちをあたたかく見守っていただき  
 ますよう宜しくお願いします。

### 壬生野地区市民センターの職員配置について



地区市民センター所長 (伊賀市)	居附 秀樹
地区市民センター事務員 (伊賀市)	山中 洋子 (新任)
生涯学習支援員 (伊賀市教育委員会)	南出 正博

2023(令和5)年度は、昨年度に引継ぎ地区市民センター職員2名と生涯学習支援員1名の  
 計3名が上記のとおり配属されます。地域の皆さまのご指導・ご支援を宜しくお願いします。

また、地区市民センター事務員として7年間勤務頂きました澤 恵さんが令和5年3月末日  
 を以って退職されました。“まちづくりの推進”に大変お世話になりました。

祝

# ユネスコ無形文化遺産

## 登録記念講演会が開催されました。

3月11日（土）大山田産業振興センター多目的ホールで『山畑勝手神社の神事踊りについて—ユネスコ無形文化遺産登録によせて—』と題して伊賀市文化財保護審査委員の佐々木聖佳さんの講演がありました。この講演会は、昨年11月30日に勝手神社の神事踊りを含む国指定重要無形文化財である41件の「風流踊（ふりゅうおどり）」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念したものです。ユネスコでは無形文化遺産に衰退や消滅などの脅威がもたらされるとの認識から、無形文化財の保護を目的として条約を採択し、有形文化遺産に加え無形文化遺産についても国際的保護を推進する。また、口承による伝統及び表現、芸能、社会的慣習、儀式及び祭礼行事、自然及び万物に関する知識及び慣習、伝統工芸技術といった無形文化遺産について、契約国が自国内で目録を作成して保護措置をとるとともに国際的な保護などが定められています。



風流踊 41 件の登録の提案要旨は、①「風流踊」は、広く親しまれている盆踊りや、小歌踊、念仏踊、太鼓踊など、各地の歴史や風土に応じて様々な形で伝承されてきた民族芸能。華やかな、人目をひくという「風流」の精神を体現し、衣装や持ち物に趣向をこらして、笛、太鼓、鉦などで囃し立て賑やかに踊ることにより、災厄を祓い、安寧な暮らしがもたらされることを願うという共通の特徴を持つ。また、②世代を超え地域全体で伝承されていることから、地域社会の核ともなる役割を果たしている。その起源は中世に由来し、時代にに応じて変化しながら、今日まで伝承されている。長い伝統を背景に、特に災害の多い日本では、被災地域の復興の精神的な基盤ともなるなど、文化的な意味だけでなく、社会的な機能も有するとある。

佐々木講師の考える山畑の神事踊りのすばらしさとして、①華やかで風流性がある。②御霊信仰が生きている。③伝承基盤がしっかりしている。などが挙げられ、なかでも山畑の神事踊りの伝承基盤となる親子制度の絆（日常の親子として、地域の一員として地域を支える）について語られました。

### ユネスコ無形文化遺産登録までの経緯

2018年	3月	8日	重要無形民俗文化財の指定
		8月	全国民族「風流」保存・振興連合会へ加入
2020年	2月		ユネスコ無形文化遺産に提案することへ同意する
	3月		文化庁が「風流踊」として提案
	9月		ユネスコの審査件数の上限を上回る提案が各国よりあったため、我が国の審査が一年先送りとなる。
2021年	3月		「風流踊」を再提案
2022年	11月	1日	「風流踊」について評価機関より「記載」の勧告を受ける
		11月30日	「風流踊」の登録決定

# 壬生野歴史探訪フィールドワークに参加して

3月18日（土）の午後から壬生野歴史探訪フィールドワーク（山畑編）を実施しました。前日からの雨で少し肌寒い日になりましたが17人の参加を頂き予定どおりウォーキングを実施しました。

山畑農事集会所を13時に出発し、最初の目的地である白藤滝を目指して元気にスタートしました。道中は梅の花やヨモギ、土筆といった春の息吹が感じられ、参加者同士の会話が弾んでいました。

白藤滝に到着後、白藤滝保勝会の亀井直文会長から白藤滝にかかわって、田代池の歴史や親子滝、二位の滝、三寶の滝の説明を聴きました。そのあと、紅葉まつり会場周辺を散策して、次の目的地である勝手神社に向けて出発しました。勝手神社神事踊り巡幸のスタート地点となる勝手神社御旅所に立ち寄り説明を受けて、巡幸路に沿って勝手神社に向かいました。勝手神社では昨年11月にユネスコ無形文化遺産に登録された神事踊を中心に、山畑区の奥昭徳区長から、神事踊の解説と踊の構成、種類等の説明を受けました。また、区長からは“百聞は一見に如かず”10月第2土・日曜日に行われる神事踊を実際に見てほしいと話されました。説明を聞く中で伝統行事の素晴らしさを実感するとともに、後継者育成の大変さも感じることができました。

その後は隣にある普門寺や他の山畑区内の名所等の説明を受け、今後の歴史散策の参考になるところを教えていただき、全行程約7kmを全員無事に完歩することができました。感謝！感謝！感謝！



## 「LGBTQ+」まとめ

日本でも公的機関の書類に性別欄が排除されたり、デリケートなセクシュアリティに対する配慮が垣間見れたりするような社会になってきました。

世の中には男と女、二つの性が基盤として存在していますが、実際は多彩な性自認、性指向、そして性的表現があります。

社会が性別を決定する必要性に疑問を呈する方もいます。男女の性の間をユラリと行き来する人もいれば、性別変更をして新たな性別で生きる方もいます。

それぞれセクシュアリティというものは人それぞれが持つカラーや個性、恋愛スタンスなどを見える化したものが、LGBTQ+に代表される表現方法なのです。

日本にいとゲイやレズビアン、トランスジェンダーですら理解が及ばないことも多々ありますが、それでも生きていく為の人権であるセクシュアリティ選択の自由、決定は今後も多様性を見せていくはずで

国や地域によっては、まだまだ排他的な考え方や悪意のない配慮のなさで人々を傷つけることが多々あります。男性と女性の二性だけによらないセクシュアリティを認め合える社会は宗教や文化を越えていけるのか？その答えは結局のところ私達の心の中にあるのです。

《人権・男女共同参画部会》



# 4月の行事予定



◇4月のスケジュールをお知らせします。

月 日(曜日)	行 事 名	摘 要
4月 3日(月)	第1回三役会議 13:30~	壬生野地区市民センター
4月 6~8日	三重県議会議員選挙期日前投票	西柘植地区市民センター
4月 6日(木)	第1回役員会(新旧役員会) 19:30~	壬生野地区市民センター
4月 8日(土)	第34回 霊山桜まつり	霊山保勝会・西柘植地域 まちづくり協議会
4月 9日(日)	三重県議会議員選挙投票日	各投票所
4月 9日(日)	伊賀市消防団辞令交付式・初任者教育訓練等	市民体育館ほか
4月13日(木)	第1回部会 ①地域安全部会、 ②人権・男女共同参画部会、③生活・環境保全部会	壬生野地区市民センター [19:30~21:00]
4月14日(金)	第1回部会 ④健康福祉部会、⑤産業振興・交流部会 ⑥教育文化・スポーツ部会、⑦壬生野若者会議	壬生野地区市民センター [19:30~21:00]
4月18日(火)	人権・同和問題地区別懇談会説明会及びリーダー研修	西柘植地区市民センター
4月20日(火)	狂犬病予防集合注射 9:30~10:45	壬生野地区市民センター
4月24日(月)	第1回運営委員会(新運営委員・新部会長) 19:30~	壬生野地区市民センター
4月下旬	壬生野地域まちづくり協議会会計監査	壬生野地区市民センター
4月29日 ~5月7日	余野公園つつじを愛でるウイーク	余野公園保勝会・柘植地 域まちづくり協議会

◇2023(令和5)年4月以降のスケジュール

月 日(曜日)	行 事 名	摘 要
5月 1日(月)	伊賀市広報配布日(コミュニティ壬生野 205号配布)	広報いが5月号
5月 4日(祝)	18歳成人式	文化会館
5月上旬	第1回地域自治推進会議	伊賀支所
5月中旬	第2回役員会	壬生野地区市民センター
5月11日~20日	春の全国交通安全運動	
5月16日(木)	行政相談	伊賀支所談話室
5月16日(木)	壬生野地域まちづくり協議会定期総会 19:30~	壬生野地区市民センター
6月 1日(月)	伊賀市広報配布日(コミュニティ壬生野 206号配布)	広報いが6月号
6月 4日(日)	いがまち環境美化デー 壬生野地域環境美化活動(自治会毎 8:00~12:00の1時間)	壬生野地域全域

\*このスケジュールは3月24日現在の情報で作成しています。変更となる場合がありますのでご了承下さい。

## お知らせ

**壬生野地域まちづくり協議会のメールアドレスが変わります！**

2023(令和5)年4月1日からメールアドレスを下記のとおり変更しますのでご注意ください。

変更前 tokimeki@ict.ne.jp ⇒ 変更後 mibunno-tokimeki@ict.jp

\*尚、経過措置として4月末日までは旧アドレスが使用できます。

◇◇◇ ご意見・お問い合わせ・投稿は、下記までお寄せください。 ◇◇◇

壬生野地域まちづくり協議会事務局 TEL 45-8900

